

コード No.

提出日：令和4年4月27日

令和3年度

「新潟から世界のコロナ困窮者へのサポートプロジェクト」報告書

特定非営利活動法人にいがた NGO ネットワーク
庭野平和財団コロナ緊急助成コーディネイト担当
三上 杏里

1. プログラムの目的

本事業は、新潟から、新型コロナウイルス（COVID-19）で困窮しているアジアの地域の人々に支援をし、同時に新潟在住のアジアからの留学生の支援を行うことにより、世界とつながる新潟の助け合いの輪を広げる活動を行うことを目的とした。ベトナム、地元新潟にて2つの活動を実施し、新型コロナウイルスの影響を受けて制限されがちな NGO 活動及び新潟の多文化共生活動の継続、発展を目指した。

新潟は地方都市でありながら、世界に対して門戸を開いており、市民の国際協力に関する関心が高く、なおかつ県内で直接海外支援事業に取り組む NGO も多い。その NGO らの支援先国や地元新潟在住の外国人が新型コロナウイルスの影響を受けて困窮状態に陥っている。この問題を解決するには、国境を超えて、新潟という地域を基盤とした国際協力活動・多文化共生活動に取り組むことが重要と感じたため、今回の緊急助成を申し込んだ。

また、今回の緊急助成申込に当たり、新潟において協力し合う、助け合うということを発信したいと思うに至った。世界中の人が困難な状況にあるため、人を思いやる余裕が無くなっている今だからこそ、新潟という地域を基盤として新潟という地域から世界を意識し、助け合いの精神とアクションを実現すべく、当団体にいがた NGO ネットワークはネットワーク系 NGO という特色を活かし、海外への直接支援 NGO・2 団体と多文化共生活動をしている団体との協働プロジェクトを立ち上げ、実施した。対象は、ベトナムとスリランカ。ベトナムはベトナム国内の孤児院、スリランカは新潟在住の留学生とし、2 方面からの支援を実施した。

2. 主な活動内容・スケジュール

11 月【ベトナム】現地と支援に関する契約書の締結、支援金の送金と支援開始。食料品および日用品の支給実施。

【新潟・スリランカ】奨学金支給対象者の選定方法の調整、全体スケジュール確認

12 月【ベトナム】支給実施、現地から前月支給に関する報告受、翌月の予定確認。食料品および日用品の支給実施。

【新潟・スリランカ】奨学金希望学生の募集開始

1 月【ベトナム】支給実施、現地から前月支給に関する報告受、変更点の有無の確認、翌月の予定確認。食料品および日用品の支給実施。

【新潟・スリランカ】1月15日、16日留学生の面談実施、奨学生確定、助成実施。

奨学生に今後も助け合いの輪を継続していくために、事務所にて新潟の人々との交流およびボランティア作業に従事してもらう。

2 月【ベトナム】支給実施、現地から前月支給に関する報告受、翌月の予定確定。食料品および日用品の支給実施。

【新潟・スリランカ】奨学金支給。奨学生に今後も助け合いの輪を継続していくために、事務所にて新潟の人々との交流およびボランティア作業に従事してもらう。

3 月【ベトナム】支給実施、現地から前月支給に関する報告受、実施実績のまとめ

【新潟・スリランカ】奨学金支給。奨学生に今後も助け合いの輪を継続していくために、事務所にて新潟の人々との交流およびボランティア作業に従事してもらう。実施実績のまとめ

3. 助成を受けた活動の報告（様子がわかる写真等があれば貼付してください）

【ベトナム】

承認いただいた助成金を利用して、ベトナム中部ラムドン省にある孤児院「マダグイこどもセンター」にて、食料支援と日用品購入支援を実施できた。特に、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響を受けて、日々の食費や日用品を入手でき辛くなっているこのセンターは、本助成を心から喜んでくれた。食事は、野菜、穀物類、乳製品、肉、魚、などの栄養バランスを意識して支給。日用品の場合は、洗剤・おむつ・粉ミルクなど日々の生活に欠かせないものを中心に買いそろえることができた。

不足しがちな子どもたちの食事体制を整えることによって、子どもたちの成長に不可欠である栄養状況の改善を実施することができた。また、生理用品やおむつなども購入することができ、生活全般に対して子どもたちに安心してもらうことができた。



支援にて購入できた食材等



栄養のある食事に喜ぶ子どもたち

【新潟・スリランカ】

本助成金を利用して、新潟在住のスリランカ人留学生 9 名に助成金を支給することができた。奨学金支給にあたり、選定のために面接（インタビュー）を実施したところ、どの留学生も困窮状態であることが再確認できた。「アルバイトが減らされ、収入が減ってしまった。」「新潟での生活や学問に対して強く不安を感じている。」などが多く、奨学金の必要性を感じた。

また、助成金選定の面接の際には、資金面だけではなく多方面からのアドバイスも必要となると予測し、アドバイザーとして行政による政策の専門家である新潟行政評価事務所の方にも参加してもらった。利用できる制度の紹介や相談できる機関の連絡先なども伝えることにより、様々な方面からのサポートを実施することができた。



奨学金は手渡しで実施。顔の見える関係を築くことができた

4. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

本事業による成果は多くあるが、その中でも「新潟の人々に国境を越えて新型コロナウイルス（COVID-19）で困難を抱えている人と助け合う」「支援する側・される側と 2 極化するだけでなく、サポートを必要とする人も人助けができる」という環境を作り上げることができたことが大きな成果だったと思う。

本事業をメーリングリストや団体の会報誌などで広報したところ、新潟の地方新聞社から取材を受け、大きく特集を組んでもらうことになった。カラー写真入りで多くの人に活動が伝えられることになり、ベトナム事業を担当している新潟国際ボランティアセンター（NVC）に問い合わせが多く入った。大口寄付者となってくれる人とつながることもできた。新型コロナウイルス（COVID-19）で困難な状況である人たちを、国境を越えて助け合うことが大切、というメッセージを地元新潟に広く伝えることができたと思っている。また、別の記事でスリランカ人留学生支援をするアピ会の活動も紙面で掲載され、再度多くの新潟の方々に本活動の情報届けることができた。

また、新潟におけるスリランカ人留学生奨学金支援においては、彼らに奨学金を提供するだけでなく、事務所に奨学金を受け取りに来るのを兼ねて、ボランティアとして実施団体「新潟アピの会」の活動を手伝ってもらうことを提案した。結果、留学生たちは快く引き受けてくれ（強制ではない）、事務所にてボランティア作業に従事してくれた。アピの会の他のメンバーと交流しながら（もちろん仕切りパネルなどを購入し、新型コロナウイルス対策を徹底しながら）ボランティアをすることによって、新潟の人たちと心を通わせることにつながり、地域の人とのふれあいと新潟における多文化共生の一助となったと思う。



事務所でボランティアの様子

※スリランカ人留学生からのサイン入りのお礼状を別途送付します。

5. 今後の課題

本事業によって、多くの成果を出すことができたが、いくつかの課題も明確にすることができた。

ベトナムにおいては、緊急支援として食料および日用品支援をすることができたが、2022年度はどのようにして子ども達の成長をサポートしていくべきか、事業実施団体である新潟国際ボランティアセンターは対策を迫られている。本事業の新聞記事を見て、支援を申し出てくれる人に出会えたという経験を元に、今後も積極的に広報をしていくことが重要と確信できたので、活かしていきたいと思っている。

新潟在住のスリランカ人留学生支援においては、彼らの本音を聞くことができたのは非常に良かったが、そのおかげで彼らのおかれている状況が予想以上に困難であると認識できた。アルバイトを減らされ、日々の生活にも困る留学生は本当に多く、急遽帰国してしまう留学生も多いた。そのため、当初予定していた支援人数の変更を余儀なくされるなど実施体制も見直す必要に駆られた。留学生たちは本当に困窮しており、奨学金受け取りのために事務所に来ることすら交通費を支給することによって実施できた、などギリギリの生活環境である。今後、新型コロナウイルス(COVID-19)による経済状況が改善して、アルバイトが増えるなどが無い限り、彼らの状況は改善されないと思うと新潟という地域が一丸となって何かしらの取り組みが必要なのではないか、と思っている。

地方都市新潟は、首都圏などの都会と異なり、資金の面や人の流れなどが充分でないなど課題は多い。しかし、今回、本助成を承認いただき、事業を実施できたことによって、世界の人々と新潟がつながり、共に助け合うことができた。ベトナムの子どもたちからは、「ベトナム国内で多くの人が見過ごしてしまう地域にある孤児院にも関わらず、日本の人達がサポートしてくれたのがとても嬉しい」とのコメントが寄せられた。また、スリランカ人留学生もサポートしたいと思っている新潟の人は多くいると感じてくれた。新型コロナウイルス(COVID-19)による弊害は多いが、これからも決して人々が孤立することなく、気にかけて、助け合う体制を整えていきたい。

※二つの新聞記事は、別途添付します。

新潟日報の新聞記事その2。



新潟日報の新聞記事。



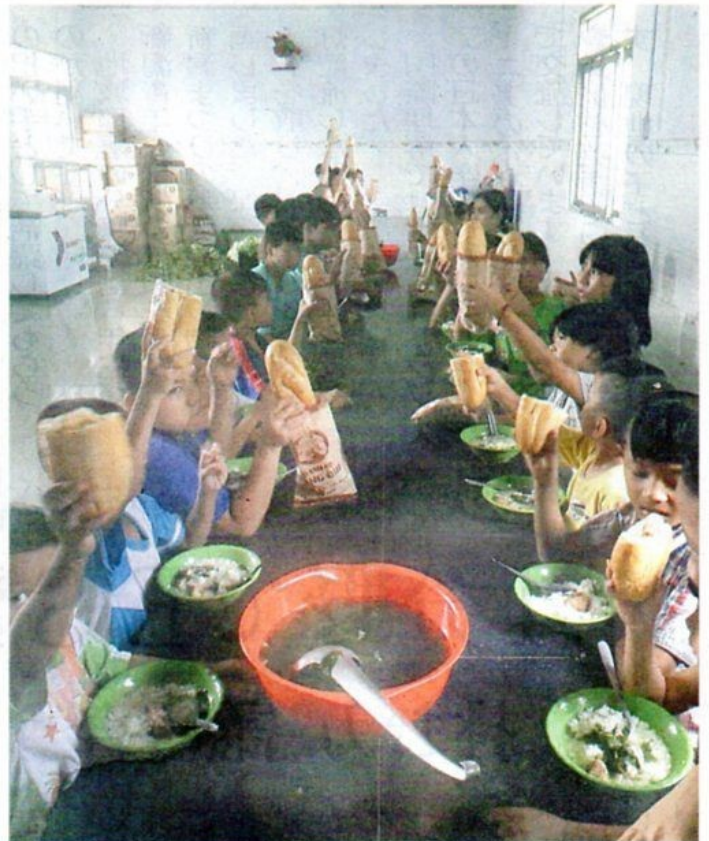
新潟日報の新聞記事その2。

Sunday Zoom Up
ズームアップ

新型コロナウイルスの感染拡大が世界で続いている。生活が困窮しているなど厳しい状況にある人への影響は特に深刻だ。そうした中、ベトナムの孤児が生活する施設の支援を続けてきた新潟国際ボランティアセンター（NVC）が、他の団体と連携して食料や日用品を緊急に贈り、現地での活動継続を支えている。（報道部・黒島亮）

ベトナムの孤児院に物資

新潟国際ボランティアセンター



救済継続へ光る連携

NVCは1990年に設立。新潟市中央区に事務局があり、東南アジアを中心に支援している。支援先の一つが、ベトナム最大都市ホーチミンから車で3時間ほどのラムドン省マダグイ地方の孤児院「マダグイ子どもセンター」だ。10年ほど前に通学用の車を贈ったことをきっかけに交流が続いている。

就業につながる技術を習得

NGOや財団と

できるよう、子どもたちが作った線香やビーズ製品を販売する事業が軌道に乗り、孤児院の経営面も自立できつつあったが、ウイルス禍で販路が大幅縮小。食料や日用品の確保も難しい状況になった。経済成長が続くベトナムでは、都市部などで富裕層も増えている。しかし、山あいの小さな街のマダグイは、ベトナム国内でもあまり知られておらず、支援の対象になりに

感染拡大でも底力

「にいがたNGOネットワーク」と協力し、マダグイへ食料や日用品を贈る「サポートプロジェクト」を今月、実施できることになった。この共

NVCはベトナムなどへの支援を継続するため募金などの協力を呼び掛けている。問い合わせは事務局、025(211)4067。

くいといる。



新潟からの支援で届いた食料を受け取り、味わうマダグイの子どもたち。ベトナム・ラムドン省（NVC提供）

NVC代表理事の三上杏里さん(43)は「孤児院には障害のある子どもも多い。必要な生活支援をすぐにしなければ、子どもたちの生活を守れない」と話す。ただ、NVCはバザーの収益や募金で活動費を集めているが、マダグイ以外にも支援先があり、使える資金には限りがある。「何とか助けられないか」と模索した。

世界では今、ウイルス禍に加え、ロシアがウクライナを侵襲し軍事攻撃の被害や多数の難民が生じることも懸念される。三上さんは「世界中が大変な状況で、弱い立場の人に特に影響が出てしまう。今回の共同プロジェクトをきっかけに他の団体と手を携えて一緒に活動する機会を増やし、困窮する人や子どもたちを支援したい」と話した。

同プロジェクトが、十日町市出身の宗教家、庭野日敬氏(東京)がウイルス禍を受けて実施する緊急助成制度の対象に選ばれ、約30万円の助成を受けることができたためだ。

厳しい状況下で孤児の暮らしや教育を支えている現地スタッフからは「山あいのマダグイは孤立しがちで、支援が届きにくい。新潟からの協力が続くことは、子どもたちにとって物だけでなく心の支えにもなる」と安堵の声が届いたという。

困ったら 一人で悩まず行政相談

頼って解決 行政相談

CASE 4



● 新潟工業短期大学に在学中の留学生と懇談会を開きました

新型コロナウイルス感染症の状況が未だ落ち着かない中、日本で暮らす留学生の生活にも大きな影響が出ています。総務省新潟行政評価事務所では、国の仕事に対する意見や要望、苦情の受け付け窓口のひとつとして、これまでも留学生の相談に応じ解決へと導いてきました。

今年1月、スリランカ人への支援を行っているNGO新潟アピの会から、「経済的に苦境に立たされているスリランカの留学生を支援したい」と相談があり、同会と新潟行政評価事務所話し合い懇談会を開きました。新潟工業短期大学(西区)に在籍するスリランカからの留学生9名が参加し、生活や経済状況、学業の進み具合などを報告。新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト時間が半分近くまで減ったことや、語学の問題、就職を控えての悩みなどの話がありました。

留学生たちは日本の習慣や制度を学びながら、一生懸命に学生生活を送っています。春から就職する人も多く、同事務所の主任行政相談官・吉田信広さんは、「社会人として働き始めると、保険や年金など行政に関わるが多くなります。困ったら行政相談に電話してほしい」と助言しました。

行政相談は、行政に関わることで困ったときに利用してほしい窓口です。皆さんからの報告や要望が行政運営の改善につながります。ぜひ活用してください。



お問い合わせ

総務省 新潟行政評価事務所

新潟市中央区美咲町1丁目1番1号 新潟美咲合同庁舎1号館

TEL 025-282-1112 FAX 025-282-1124

詳しくは



今回は多肉植物を蓄えるために... 物で、ぶくっとし... 地は雨が少なく... するためにこうし... 考えられます。

エケベリア... を咲かせたり紅... 多肉植物です。ト... ファンも多く存在... で、初めて多肉植... すすすめです。

管理のポイント... さには強いタイ... 所に置くと良い... が乾いたらたっ... 控え、乾燥状態を

初心者さんは「... ます。茎の下の方... てきます。または... を多くやりがちで